

ドイツ・フライブルク在住の環境ジャーナリスト

## 村上敦氏講演会

チラシ案

# ドイツに学ぶ“持続可能な地域”づくり ～これからの生活・健康・交通をどう創るか～



講師：村上敦氏

日時：2017年10月24日(火) 18時～20時30分

会場：瓦町FLAG8階 多目的スタジオ(事前の申し込みは不要です。)

参加費：1000円(高校生・大学生500円)

### これからの、地域の生活やまちづくりについて、いっしょに考えてみませんか？

日本では、これからさらに超高齢化・人口減少がすすみます。8年後には「団塊の世代」が後期高齢者となり、全国で大量の「買い物難民」「交通難民」が生まれます。この問題にどう対処していくか？

ドイツでは、人口10万人規模の都市や人口500人の農村が、自然エネルギーへのエネルギー転換と省エネ政策、長期的な都市計画などによって、公共交通機関などの生活インフラを維持し、経済的にも社会的にも活気ある“持続可能なまちづくり”に成功しています。

ドイツでは、どのようにして人々が安心して生活できるまちづくりがすすめられてきたのか？この講演会では、村上敦さんの最先端の知見に基づいて、ドイツと日本を比較しながら、分かりやすく解説していただきます。

50年後、100年後の未来に向けて、子どもたちが将来への明るい展望をもって健康に安全に育っていけるような持続可能な地域社会を、香川・高松で創っていくための一つのきっかけにしたいと思います。

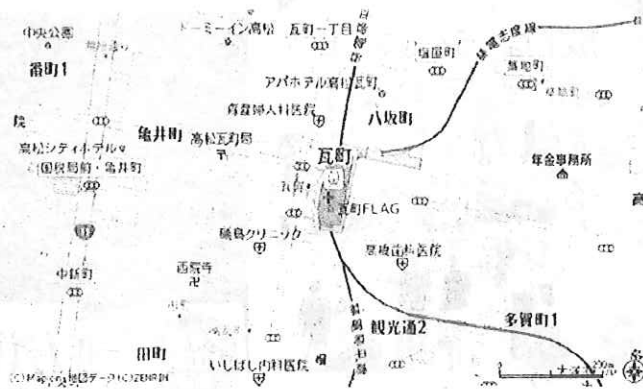
会場：瓦町FLAG

香川県高松市常磐町 1-3-1

TEL.087-812-7000

### 会場アクセス

- ・ことのでん琴平線・長尾線・志度線「瓦町駅」下車
- ・ことのでんバス「瓦町」下車
- ・ことのでん琴平線・長尾線「高松築港駅」乗車、「瓦町駅」下車



主催：村上敦さん講演会実行委員会 問い合わせ先：hibire@mb.pikara.ne.jp(柏)

後援：香川県、高松市など(申請予定)

チラシ案

村上敦氏 講演会(ドイツ・フライブルク在住の環境ジャーナリスト)

Theme **ドイツに学ぶ“持続可能な地域”づくり**  
～これからの生活・健康・交通をどう創るか～

講演会タイムスケジュール(2017年10月24日(火))

17:30～ : 開場・受付開始  
18:00～19:45頃 : 講演  
19:45～20:45頃 : 休憩をはさんで質疑  
～21:00 : 会場から撤収  
(終了後は、速やかな退出にご協力下さい。)

### 講師プロフィール

ドイツ在住ジャーナリスト、環境コンサルタント。1971年生まれ。  
執筆、講演等でドイツの環境政策、エネルギー政策、都市計画制度を日本に紹介する。  
一般社団法人クラブヴォーバン代表。  
日本エネルギーバス協会、日本エネルギー機構の顧問。

村上敦ブログ「ドイツ・フライブルク市から地球環境を考える」

<http://blog.livedoor.jp/murakamiatsushi/>

著書『フライブルクのまちづくり』学芸出版社2007  
『100%再生可能へ! 欧州のエネルギー自立地域』学芸出版社2012(共著)  
『100%再生可能へ! ドイツの市民エネルギー企業』学芸出版社2014(共著)  
『キロワットアワー・イズ・マネー』いしずえ(新書)2014  
『ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか』学芸出版社2017.3  
訳書『メルケル首相への手紙 ～ドイツのエネルギー大転換を成功させよ!～』  
(共訳) マティアス・ヴィレンバッハー著 いしずえ2014

### 環境首都フライブルク市

ドイツ南西部、シュヴァルツヴァルト山地の麓に位置し、南北18.6km、東西20km、面積153.07 km<sup>2</sup>。  
人口約23万人(2011.12)。市内をドライザム川が流れる。リサイクル政策、省エネ・自然エネルギー政策、交通政策、都市計画などにおいて先進的な取り組みを行ってきたことから「環境首都」と呼ばれる。年間の観光客は300万人以上。フライブルク大学などを擁する大学都市でもある。



ドイツの街は、なぜコンパクトで活気があるのか、日本のコンパクトシティは、なぜ失敗するのか、移動距離を短く、交通を便利にし、経済を活性化するしくみを解説、

村上敦



「地方創生」切り札はエネルギー価値創造にあった!  
「閉鎖」しないために何をすべきか?  
人口減少社会を生かす、県への課税はこれだ!

